

どつぶりオセアニア——夏のみんぱく
フォーラム2011

面積のほとんどを海が占めるオセアニアの人々は西洋世界などとは出会うはるか前から、高度な航海技術をはじめとした独自の文化を育みながら生活してきました。その一端を、多彩なプログラムを通じて紹介します。

◆「みんぱく映画会」/みんぱくワールドシネマ
「標定の1500マイル」
日時 7月9日(土) 13時30分～16時
(開場13時)

場所 講堂(先着450名)
※参加無料、申込不要

◆研究公演

「フンを語る、フンを語る」
本公演では、フンの歴史と現在について専門家が解説をするのみならず、日本人フラダンサーによる本格的な踊りが生音楽とともに披露されます。

日時 7月23日(土) 13時30分～15時45分
場所 講堂(定員450名)
※参加無料、要申込
申込締切 7月7日(木) 必着

◆研究公演
「カヴァ儀礼と天地創造のドラマ」
7月30日の公演では、フィジーの伝統的なカヴァ儀礼を披露いたします。7月31日の公演では、フィジーの創世神話がフィジー人による歌と踊りにのせて上演されます。日本のイザナギ・イザナミの国産み神話とはことなるフィジー独自の創世神話に基づくドラマです。

①公演 「カヴァ儀礼」
日時 7月30日(土) 14時～15時30分
場所 本館1階エントランスホール
※参加無料、申込不要

②解説 「オセアニアの天地創造神話」
公演 「天地創造」
日時 7月31日(日) 13時30分～16時45分
場所 講堂(定員450名)
※参加無料、要申込
申込締切 7月14日(木) 必着

◆研究公演
「マオリの伝統芸能カバハカ」
伝統的な唄・踊り・パフォーマンス、ニュージーランドで何世代にもわたって伝えられてきたマオリの芸能「カバハカ」を、マオリのグループ、ナ・ハオ・エ・ファが演じます。

①公演
日時 8月6日(土) 13時～15時
場所 講堂(定員450名)
※参加無料、要申込
申込締切 7月21日(木) 必着

②ワークショップ
日時 8月7日(日) 10時30分～14時30分
場所 正面玄関
雨天時本館1階エントランスホール
※参加無料、申込不要
以上、研究公演の申込方法
往復はがきに住所・氏名(返信用もてに)も、年齢・電話番号・参加人数(本人を含め4人まで)と研究公演タイトル・実施日を書いて広報企画室企画連携係までお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

◇「国立民族学博物館友の会」維持会員および正会員の方は優遇枠がありますので、

みんぱくはなせミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第398回 7月16日(土)

「どつぶりオセアニア——夏のみんぱくフォーラム2011」関連
オセアニアへの人類の移動——島嶼環境を住みこなす
講師 印東道子(国立民族学博物館 教授)



オセアニアは海に囲まれた島世界です。紀元前1200年頃に、東南アジアから東へと船出をした人たちがオセアニア全域に広がった様子を、最新の年代を使って紹介します。また、ハワイやニュージーランド、イースター島をはじめ、資源に乏しいサンゴ島で暮らすため、どんな工夫をしていたのかを見ていきます。

第399回 8月20日(土)

「どつぶりオセアニア——夏のみんぱくフォーラム2011」関連
海に生きるくらし——島と島をつなぐ遠洋航海
講師 小林繁樹(国立民族学博物館 教授)



オセアニアでは、多くの人がひとが海とともにくらししています。海は、魚や貝などを手に入れる日常的な生活の場であると同時に、遠くはなれた島と島をつなぐ道でもあります。それは、人と人を結びつける紐帯となります。こうした海に生きるくらしは、グローバル化が進む私たちのライフスタイルにもヒントとなることでしょう。

国立民族学博物館友の会 電話06-6877-8893(平日9時～17時) FAX06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)

第398回 8月6日(土) 15時15分～16時15分

※開催日にご注意ください
みんぱくによみがえるオセアニアのくらし
3回の収集の旅から

講師 須藤健一(国立民族学博物館長)

初めての収集の旅は民博開館直前の1977年夏でした。目的のひとつの「チユクビン」とよばれる伝統的な力ヌーは、現地でもつくられなくなっていたのですが、地元の人ひとりの強い願いによって民博に収蔵されることになりました。その後の調査も含めた収集資料の一部をお見せしながら、それぞれのエピソードを紹介し、民博への資料収集の意味についても考えてみたいと思います。

資料閲覧あり

第399回 9月3日(土) 14時～15時

蚊帳に見えない蚊帳のはなし
講師 白川千尋(国立民族学博物館 准教授)

ラオスの蚊帳は「虫除け」というだけではなく、さまざまな機能があり、女性の嫁入り道具にもなっています。この蚊帳との出会いは異文化にふれる醍醐味を教えてください。民博収蔵の美しい蚊帳をじっくりお見せしながらお話しします。

資料閲覧あり

第400回 10月8日(土) 14時～15時

※開催日にご注意ください
特別展「千島・樺太・北海道アイヌのくらし」関連
日本の人類学の黎明とアイヌ文化

講師 佐々木史郎(国立民族学博物館 教授)
日本の人類学・民族学は今から120年ほど前に産声をあげましたが、当時の研究者はどのようなことを考え、どのような記録を残したのでしょうか。それを知る手がかりともなるのがアイヌ文化研究です。当時収集された資料をご覧いただきながらお話しします。

会員番号もご記入ください。
※この他にもイベントを予定しています。
お楽しみに！
夏のみんぱくフォーラム関連イベントの問い合わせ
広報企画室 企画連携係
電話 06-6878-8210

◆国際ワークショップ

「手話の歴史言語学」データベースの構築と一般歴史言語学における展開を目指して——
世界で話されるさまざまな手話がどのように発達したのかを研究するためのワークショップを一般に公開します。(アメリカ手話・日本手話・英語・日本語使用、同時通訳付き)
日時 7月28日(木) 8時30分～12時40分
場所 講堂(定員450名)
※参加無料、要申込(くわしくはホームページで)

◆国際シンポジウム

「アジア・太平洋地域諸言語の歴史研究の方法——日本語の起源は解明できるのか——」
日本やその周辺地域で話されることばの歴史については、まだわかっていないことがたくさんあります。研究者によるシンポジウムを一般の方にも聞いていただけるよう、公開を行います。(英語、日本語への同時通訳付き)

日時 7月30日(土) 9時～18時
場所 講堂(定員450名)
※参加無料、要申込(くわしくはホームページで)
博導連携教員研修ワークショップ2011 in みんぱく
「学校と博物館でつくる国際理解教育——新しいみんぱく展示を活用する——」

国立民族学博物館を活用した国際理解教育の実践事例の紹介やワークショップを通して国際理解教育における博導連携の意義や可能性について考えます。
日時 8月5日(金) 10時20分～17時(受付10時から)

会場 セミナー室及び本館展示場内
【第1部】講演とミニシアター
【第2部】ワークショップ
※参加無料(定員に余裕があるワークショップは、当日参加も可能です)
ワークショップ詳細や申込方法についてはホームページをご覧ください。

東日本大震災被災地に対する本館の取り組みについてはホームページをご覧ください。

※お問い合わせの受付時間は9時から17時(土日祝を除く)です。

刊行物紹介

■小長谷有紀・後藤正憲 共編
『社会主義の近代化の経験——幸せの実現と疎外』
明石書店 定価:6,300円

社会主義のもとで人びとはどのように幸せを実現しようとしたのか。本書は、「近代と伝統」「マテリアルと表象」「認識と信仰」「経験と記憶」をキーワードに、偏見を排し、生活実態から社会主義を明らかにする。

■梅棹忠夫 著
小長谷有紀・佐藤吉文 編著
『ひらめきをのがさない! 梅棹忠夫、世界のあるきかた』
勉誠出版 定価:2,310円

「あるきながら、かんがえる」という梅棹忠夫の思想のプロセスを追体験しながら、その極意をつかむ。稀代の探求者・観察者は世界をどのように見ていたのか。その調査のしかたを視覚的・具体的に明らかにする、実践例題集。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

ニュージーランドマオリのカービング

ニュージーランドの先住民「マオリ」のカービング(彫刻)は、彼らが古くから大切に受け継いできた伝統工芸のひとつです。翡翠(グリーンストーン)や動物の骨を彫ってつくった、美しく神聖なお守り・魔除けの意味合いをもっています。ひとつひとつのデザインには意味があり、マオリの人びとの大自然に対する崇拜の念がダイレクトに表現されています。

フック……釣針のかたち。航海の幸運と安全を祈る意味があります。
ツイスト……ねじれを表すかたち。絆や友情の意匠があります。
クジラの尾……クジラの尾ひれのかたち。強さや尊敬の意味があります。



シェルペンダント 5,250円～6,200円
ボーンペンダント 2,900円～6,825円
グリーンストーンペンダント 9,850円～15,000円